



# 開校120周年



令和5年がスタートしました。保護者の皆様、地域の皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年度は、教育活動全般はもちろん、運動会や音楽会、開校120周年記念行事など、コロナ禍以前のように多くの保護者、地域の皆様の参加が格段に増え、子供たちのやりがいを高めていただいています。本当に有り難いと思っています。

## 新年の挨拶

子供を育てる

「水の心」

校長 山村 登洋



# 本村小学校

## だより

### 第1月号

発行所 港区立本村小学校  
〒106-0047  
港区南麻布3-9-33  
TEL: 03-3473-1462  
FAX: 03-3443-8535

さて、1月になりました。各学年とも締めくくりの段階に入ります。子供たちは、この節目の中で「今年こそは」と、新しい年の夢を描いたり、目標を立てたりしていると思います。それぞれの学年や立場に応じた夢や目標の設定は、その後の成長に重要な役割を果たします。そして、学校も同様です。本校では「知・徳・体」のバランスの取れた子供の育成をめざし、特に次の3つのことに力を入れています。

## 3学期は

一つ目は、**明るい挨拶です。**同じ挨拶をするにしても、しっかりと声を出してお辞儀や会釈できることや、相手

の目を見て挨拶することに重きを置いています。

二つ目は、**子供たちの自己肯定感の向上です。**「3つのC」を大切にしながら、学習や運動など学校生活におけるあらゆる場面で子供たちの自己肯定感のアップを図っています。

三つ目は、**体育の授業を基盤に大縄、短縄跳び、体力向上イベントを取り入れた体力づくり**に取り組んでいます。これらを通して最後まで粘り強くやり遂げる精神力も身に付けさせています。

この3つのことだけに限らず、教職員一同、子供たちのよいところを認めて褒めることを大切にして指導にあたりたいと考えています。

## 水の元素記号は?

私が学級担任をしていた時に、ある同僚の先輩から、「子供を健やかに育



てるためには「水(H<sub>2</sub>O)の心」が大切だと教えられました。

「H(褒める)、H(励ます)、O(おだてる)」。さじ加減に気をつけながら「おだて」ながら、子供たちの意欲や関心、やる気を育てることが次へのステップアップに繋がっていきま

す。

1月の恒例スポーツ「箱根駅伝」では、駒澤大学が3年ぶりに総合優勝を果たしました。名将大八木監督もここ数年で指導スタイルを大きく変えていることが話題となりました。激だけではなく、個に応じて褒めたり、励ましたり、時にはおだてたりしながら選手とのコミュニケーションを図り、選手の能力を引き出したそうです。正に「水(H<sub>2</sub>O)の心」ではないでしょうか。

このように、子供たちには小さいけれど確実な一歩を一人一人が勇気をもって踏み出せるよう、教職員一同、誠心誠意努力してまいります。今年もよろしくお願

